

### 第3回HRC研究報告会外部評価シート

|  |         |                                  |                                     |
|--|---------|----------------------------------|-------------------------------------|
| 開催<br>場所   | 梅田サテライト | 開催<br>日時                         | 平成 19 年 3 月 17 日 (土)<br>13:00-16:30 |
| 外部評価委員<br>所属・職・氏名  |         | シャープ株式会社 技術本部 基盤技術研究所<br>所長 高橋 明 |                                     |
| 総 評  |         |                                  |                                     |
| <p>ユニークな視点で、光で 4 グループをまとめられています。今後、相互の進み具合を見て同じグループにあることの利点を生かして行ければ、早い時期に新しい段階に進めると感じました。その中でもグループ 4 は他のグループとの関係はもう少し検討するとまた新しいテーマが見つかる可能性があると感じました。</p>                                    |         |                                  |                                     |
| グループ 1 評価  |         |                                  |                                     |
| <p>フラットパネルによる情報表示には引き続き高性能化が求められており、面白いアプローチの一つだと思います。発表は液晶の配向性をより精密に制御できる技術であり、現行のラビング法で不可能なことがいろいろと提示されています。測定に時間がかかることから材料に制限を受けているようですが、今後は別の視点からの材料選定が必要になるかもしれません。</p>                 |         |                                  |                                     |
| グループ 2 評価  |         |                                  |                                     |
| <p>新しい光源である自由電子レーザーの発生装置の小型化を検討されています。磁性体を積層させて最適な磁界を作り出すところで苦勞されているようですが、本分野の技術は、生体情報を直接見られる可能性も持つためいろいろなところから注目されています。今後も着実な進歩を期待いたします。</p>  |         |                                  |                                     |
| グループ 3 評価  |         |                                  |                                     |
| <p>光ストレージの寿命を調べられています。現在主流の CD、DVD の追記型と書換型が想定されています。CD、DVD、次世代 DVD とほぼ同じ記録方式が採用されているため、ある程度の共通試験方法が取れると思います。しかし、より精度を上げるときには、細かい方式差や材料の差が問題になる可能性がありますので、次のステップに向けて物理モデルをある程度立てられてはどうか。</p> |         |                                  |                                     |
| グループ 4 評価  |         |                                  |                                     |
| <p>消費者の行動パターンをモデル化に挑戦されています。ネットワークの状況はどんどん変わってきており、情報提供側もどう対応していくか注目しています。回線が大きくなり、情報蓄積技術・表示技術も進んでいます。このような量的変化が質に転換する時期かもしれませんので、外乱要因を含めてパラメータの追加の検討をお願いします。</p>                            |         |                                  |                                     |